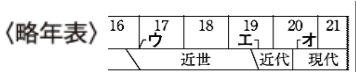


# 未来への架け橋 << 令和2年度版 >>

# 福岡県立高校入試問題（思考力・判断力・表現力等を問う問題）を活用した授業改善・学習資料（社会）①

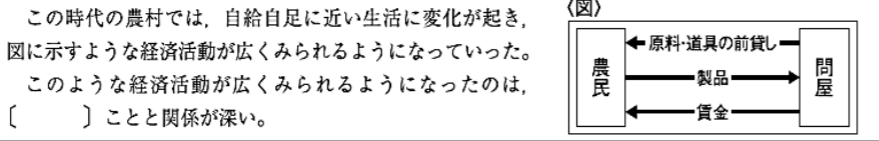
## 1 図から読み取ったことと指定語句を関連づけて社会の様子を説明する問題

## 2 複数の資料から読み取ったことをもとに社会の変化を説明する問題



（カード）  
 C この貨幣は、ウの年につくられ始めた。この時代は、幕藩体制が確立し、交通網が整備され、各地で都市が成長し、〔い〕。  
 （日本銀行貨幣博物館蔵）

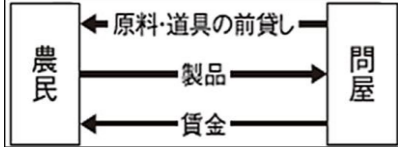
問5 下の□内は、一郎さんが、A～Eのカードが示す時代のうち、いずれかの社会の様子についてまとめたものである。どの時代の様子か、A～Eから一つ選び、記号で答えよ。また、〔 〕にあてはまる内容を、「貨幣経済」と「商品作物」の語句を使って書け。



次のように考えて解きます。

次のように考えて解きます。

①図が表していることを読み取る。



**考え方のポイント**  
 「何が、どこから、どこへ」流れているのかを読み取り、図が表していることを見つける。

- ・問屋が農民に「原料・道具の前貸し」をして、農民が「製品」をつくっている。
- ・農民が「製品」を問屋におさめ、問屋から農民に「賃金」が支払われている。

**必要な知識や技能**

■近世における農村の変化

◎問屋制家内工業による生産活動の始まり

綿などの原料を買い集めた問屋が、農民に織機などの道具を貸して布などを織らせ、製品の出来高に応じて賃金を支払うという生産方法が広がる。

選ぶカードは、C

②指定語句を関連づけて、江戸時代の社会の様子を説明する。

**考え方のポイント**

「貨幣経済」と「商品作物」に関する知識を使って、「貨幣経済」と「商品作物」の関係、「問屋制家内工業による生産活動の始まり」との関係を考える。

**必要な知識や技能**

◎農村への貨幣経済の広がり

貨幣経済：貨幣を用いて生産や消費などの経済活動が行われること。  
 農業の発達とともに、農具や肥料を購入するために、農民にも貨幣（現金収入）が必要になった。

**必要な知識や技能**

◎商品作物栽培の広がり

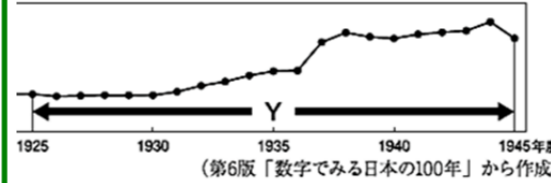
商品作物：綿織物や菜種油などの原料となる綿花、菜種など、**売買**を目的に栽培された作物。  
 図中「原料」と結びつく農民の現金収入につながった。

農民は貨幣を手に入れるために、手工業製品の原料となる商品作物を栽培し売買した。  
 〔 〕にあてはまる内容は、

貨幣経済が広がり、商品作物が売買されたことと関係が深い

※正答は、下線付き赤字

（資料Ⅰ）20世紀前半の国家財政に占める軍事費の割合の推移



問2 下のノートは、優真さんが、資料ⅠのYの期間の変化に着目して作成したものである。〔 〕にあてはまる内容を、資料Ⅳ、Ⅴから読み取れることをもとに、「政党内閣」と「台頭」の語句を使って書け。

（ノート）

（資料Ⅳ）Yの期間に起こったできごとをまとめた歴史新聞（一部）

（国立国会図書館ホームページから作成）

（資料Ⅴ）Yの期間に制定された法律について調べたこと

調べた法律の第四条には、政府は議会の承認なしに、戦争に必要な労働力や物資を動員できると定められている。

【考えたこと】

Yの期間のわが国は、〔 〕ことにより、軍事費の割合が増加し、戦時体制が強まり、大きな戦争につき進んだと考えられる。歴史の学習を通して、文民統制とよばれる原則が、戦争を起こさないために大切なことの一つだと考えた。

①資料Ⅰを読み取る。

Yの期間：大正末期から昭和初期

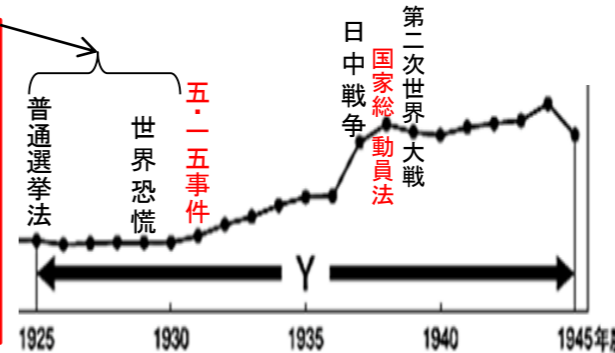
**考え方のポイント**

Yの期間がどのような時期だったか概要をつかむ。

**必要な知識や技能**

■政党内閣のゆきづまり

政党内閣による政治が行われたが、世界恐慌に直面して経済政策や外交政策をめぐる軍部との対立が続いた。



**必要な知識や技能**

■大戦の時代

第二次世界大戦が起こり、ヨーロッパや太平洋、アジアで長く戦争が続き、総力戦が行われた。  
 軍事費の増加

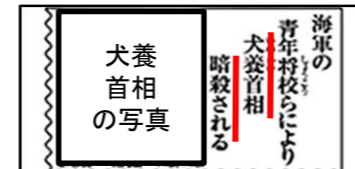
②指定語句をヒントに、資料Ⅳ、Ⅴが表しているできごとをつなげて説明する。

資料Ⅳ：五・一五事件の記事

**必要な知識や技能**

■五・一五事件（1932年5月15日）

政党内閣に不満をいだく海軍の青年将校らが、犬養毅首相らを襲撃した事件。



資料Ⅴ：国家総動員法（第四条）

調べた法律の第四条には、政府は議会の承認なしに、戦争に必要な労働力や物資を動員できると定められている。

**必要な知識や技能**

■国家総動員法（1938年）

資源と国民を優先的に戦争に動員するために制定された法律。

**考え方のポイント**

五・一五事件、「政党内閣」、国家総動員法、「台頭」の4つの語句を使ってYの期間の社会の変化を説明する。

五・一五事件によって政党内閣による政治が終わり、軍部が台頭して国家総動員法などが制定され、戦時体制が強まっていった。

〔 〕にあてはまる内容は、政党内閣が終わり、軍部が台頭したことにより

※正答は、下線付き赤字

# 未来への架け橋 << 令和2年度版 >>

# 福岡県立高校入試問題（思考力・判断力・表現力等を問う問題）を活用した授業改善・学習資料（社会）②

## 3 複数の資料から読み取ったことを関連づけて考えられる理由を説明する問題

問2  
(2) [ ⊕ ] にあてはまる内容を、資料IV～VIを関連づけて、「輸入」と「生産」の語句を使って書け。



(ノート) ～貿易の視点からみた南アメリカ州について～

〈資料Ⅲ〉 オの国の輸出品目の輸出総額に占める割合の上位3品目の変化

順位	年	1995年	2015年
第1位		機械類 (12.0%)	大豆 (11.0%)
第2位		鉄鋼 (9.3%)	機械類 (8.0%)
第3位		自動車 (5.6%)	肉類 (7.5%)

(2017/18年版「世界国勢図会」等から作成)

〈資料Ⅳ〉 大豆輸入量の推移 (百万t)

〈資料Ⅴ〉 オの国の森林の変化を示す衛星写真

〈資料Ⅵ〉 オの国の耕地面積の変化

年	項目	耕地面積 (十万ha)
1995年		655
2015年		866

(2018/19年版「世界国勢図会」等から作成)

〈考えたこと〉  
資料Ⅲのように、オの国の輸出品目に変化した理由の一つとして考えられるのは、[ ⊕ ] ことである。

### 次のように考えて解きます。

① 略地図「オ」のブラジルについて資料Ⅲを読み取る。

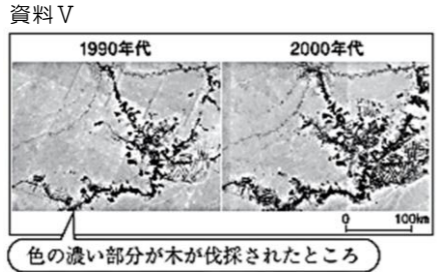
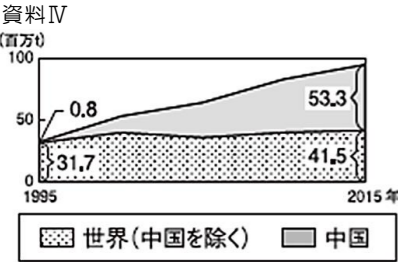
資料Ⅲ

順位	年	1995年	2015年
第1位		機械類 (12.0%)	大豆 (11.0%)
第2位		鉄鋼 (9.3%)	機械類 (8.0%)
第3位		自動車 (5.6%)	肉類 (7.5%)

**考え方のポイント**  
1995年と2015年を比べて大きく変化したことを読み取る。

・工業製品の割合が減り、農産物の割合が増えた。

② 指定語句をヒントに、資料Ⅳ、Ⅴ、Ⅵから読み取ったことを関連づけて説明する。



資料Ⅵ

年	項目	耕地面積 (十万ha)
1995年		655
2015年		866

・中国の大豆輸入量が増えた。 ・伐採されたところが拡大した ・耕地面積が増加した。

#### 考え方のポイント

資料Ⅳ～Ⅵから読み取れることとブラジルの大豆の輸出額割合の増加との間に、どのようなつながりがあると考えられるかを説明する。

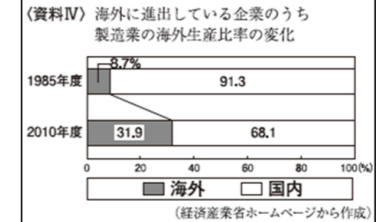
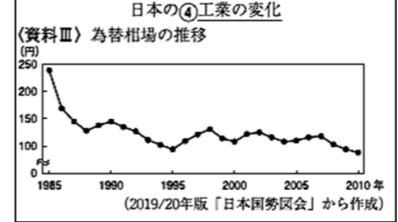
中国の大豆の輸入が増加し（大豆の需要が高まり）、ブラジルが森林を伐採するなどして耕地に変え、大豆の生産を増やし（中国などに輸出し）たことである。

\* ( ) 内は、資料から推測されること。

※正答は、下線付き赤字

## 4 知識を活用して複数の資料から読み取ったことの関係性を説明する問題

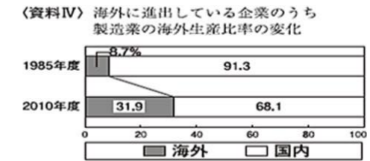
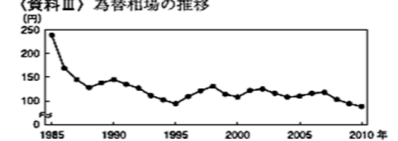
問4 下線部④について、[ ⊕ ] にあてはまる内容を、資料Ⅲ、Ⅳから読み取れることを関連づけて、「生産にかかる費用」の語句を使って書け。



資料Ⅲ、Ⅳを関連づけると、製造業では、円の価値が [ ⊕ ] ことがわかる。

### 次のように考えて解きます。

① 資料Ⅲ、Ⅳを読み取る。



#### 必要な知識や技能

■ 「産業の空洞化」  
企業が工場などの生産拠点を海外に移すことで、国内産業が衰退すること。

・円の価値が高くなっている。 ・海外生産比率が高まる。

#### 必要な知識や技能

■ 為替相場と円高  
為替相場: 円と外国通貨の交換比率  
(例) 1万円を何ドルと交換できるか  
1ドル=200円      1ドル=100円

50ドル      100ドル  
\* 1ドルが100円のとくの方が、200円のとくより1万円を多くのドルと交換できる。  
☞ ドルに対して円の価値が上がる (円高)。

■ 円高が貿易に与える影響  
(例) 1万円の製品を日本から海外へ輸出する場合  
1ドル=200円      1ドル=100円

50ドル      100ドル  
\* 1ドルが100円のとく、外国では多く支払わなければ日本製品が買えない。  
☞ 円高のとき日本国内で生産して海外へ輸出しても売れにくい。

② 指定語句と「円高」の関係を考える。

#### 考え方のポイント

円高になると製造業の企業にとって海外での「生産にかかる費用」はどうなるか考える。

☞ 円高になると海外の土地などを購入する費用を抑えることができる。

■ 製造業の海外への工場移転  
(例) 海外で1万ドルの土地を購入する場合  
1ドル=200円…200万円をドルに交換  
1ドル=100円…100万円をドルに交換  
\* 1ドル100円のとくの方が、少ない円で土地代を支払える。

[ ⊕ ] にあてはまる内容は、円の価値が高くなったことによって、生産にかかる費用を下げるために、海外生産比率を高めた

※正答は、下線付き赤字

# 未来への架け橋 << 令和2年度版 >>

## 5 複数の資料から読み取れることを関連づけて理由を説明する問題

問2 下のノートは、太郎さんが、下線部②について調べたものである。資料Ⅱに示す判決が出された理由を、資料Ⅲ、Ⅳから読み取れることを関連づけて書け。その際、「一票」の語句と資料Ⅳの(㉔)にあてはまる語句を使うこと。

(表)

政党	△△党
項目	政治・安全
	②衆議院の選挙制度の見直し

(ノート)

(資料Ⅱ) 衆議院議員選挙に関する新聞記事(平成27年11月)の要約

衆議院議員選挙は、平成二十六年に実施された衆議院議員選挙が違憲状態であったとの判断を示した。

衆議院議員選挙 最高裁判決 最高裁判決

(資料Ⅲ) 衆議院議員選挙における二つの小選挙区の有権者数(平成26年12月)

選挙区	有権者数(万人)
P選挙区	49
Q選挙区	23

(資料Ⅳ) 日本国憲法第14条(一部)

すべて国民は、法の下に(㉔)であつて、人種、信条、性別、社会的身分又は門地により、政治的、経済的又は社会的関係において、差別されない。

次のように考えて解きます。

①資料Ⅱ、Ⅳを読み取る。

資料Ⅱ

資料Ⅳ

すべて国民は、法の下に(㉔)であつて、人種、信条、性別、社会的身分又は門地により、政治的、経済的又は社会的関係において、差別されない。

・日本国憲法第14条「法の下での平等」  
㉔にあてはまる語句は、**平等**

**考え方のポイント**  
資料ⅡとⅣからわかることを説明する。

・衆議院議員選挙に対する違憲審査  
平成26年の衆議院議員選挙は、**日本国憲法の「法の下での平等」に反する状態だった。**

②指定語句をヒントに、資料Ⅲが表していることを読み取る。

資料Ⅲ

**必要な知識や技能**

■「一票の格差」の問題  
一票の格差：有権者数の差が大きくなり、有権者一人一人が投じる一票の効果(価値)に大小の差が生じること。有権者が少ない選挙区ほど、一票の価値は大きくなる。  
\*衆議院議員一人あたりの有権者数  
<P選挙区> ...議員 ...有権者数  
<Q選挙区> ...議員 ...有権者数

・有権者数に2倍以上の違いがある。

P選挙区はQ選挙区よりも一人の議員が当選するために2倍以上の得票が必要になり、一票の価値に格差が生じている。

**考え方のポイント**  
「一票の格差」が「違憲状態」である理由を、「法の下での平等」と関連づけて説明する。

理由は、2つの小選挙区の有権者数の違いから、一票の格差が生じており、日本国憲法に定められている法の下での平等に反する状態だったから

※正答は、下線付き赤字

# 福岡県立高校入試問題(思考力・判断力・表現力等を問う問題)を活用した授業改善・学習資料(社会)③

## 6 複数の資料から読み取ったことから考えられることを説明する問題

美奈さんは、「循環型社会の一層の実現をめざして」をテーマに、プラスチックを取り巻く状況について調べ、ノートを作成した。ノートをみて、問に答えよ。

(ノート)

「循環型社会の一層の実現をめざして」

(資料Ⅰ) 廃棄物が自然界で分解されるまでに必要な時間

プラスチックボトル	450
アルミ缶	200
紙類	0.25

(資料Ⅱ) 日本のプラスチックボトルの需要実績の推移

(資料Ⅲ) 日本の廃プラスチックの処理状況

国内リサイクル	40.6%
総量	251万t(2017年)
国外輸出	59.4%

(資料Ⅳ) 日本の廃プラスチックの主な輸出先

タイ	4.0%
マレーシア	5.0%
ベトナム	9.0%
その他	10.0%
中国	72.0%

(資料Ⅴ) 各国の廃プラスチック対策の決定事項

国名	決定事項
中国	2018年に輸入禁止
ベトナム	2018年から輸入制限
マレーシア	2018年から輸入制限
タイ	2021年に輸入禁止

(考えたこと)

○資料Ⅰ、Ⅱから、今後、自然環境に影響が生じる可能性がある。その理由の一つは、[A]からである。  
○資料Ⅲ～Ⅴを関連づけて、輸出相手国の多くが[B]というおそれがある。  
○循環型社会とは、[C]というような社会をいう。これは、環境への負荷をできる限りなくす社会のことである。今後は、循環型社会の一層の実現をめざしていきたい。

問 資料から読み取れることをもとに、[A]～[C]にあてはまる内容を書け。

次のように考えて解きます。

①「循環型社会の実現」と関連づけて資料Ⅰ、Ⅱを読み取る。

考え方のポイント

環境に影響(負荷)を与える現状を読み取る。

- プラスチックボトルの分解には長い時間がかかる。
- プラスチックボトルの需要が増加している。

[A]の内容は、**自然界で分解されにくいプラスチックボトルの需要が増加している**

②資料Ⅲ、Ⅳ、Ⅴから読み取ったことから言えることを考える。

考え方のポイント

「輸出相手国の多くが」をヒントに、どうなる「おそれ」があるか考えて説明する。

[B]の内容は、**輸入を規制するため、日本の廃プラスチックの処理が困難になる**

- 日本は廃プラスチックを国外に輸出している。
- 輸出先の国が廃プラスチックの輸入を規制する。

日本は廃プラスチックをアジアの国々に輸出して処理することができなくなる。

③「循環型社会」に関する知識を活用して、資料Ⅰ～Ⅴから言えることを考える。

考え方のポイント

資料Ⅰ～Ⅴの現状を踏まえ、「環境への負荷をできる限りなくす社会」の文を手がかりに循環型社会について説明する。

**必要な知識や技能**

■循環型社会  
廃棄されるものを最小限に抑え、再利用を徹底し、環境への負荷をできる限りなくす社会のこと。

プラスチックボトルを自然界に廃棄したり、消費したりすることを最小限に抑え、廃プラスチックを資源として再利用(リサイクル)する社会

[C]の内容は、**廃棄や消費を抑制し、資源として再利用する** ※正答は、下線付き赤字